

事業所名

フェリクス曾根

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念	障害のある人の「当たり前の人生の実現」		
支援方針	子どもたちが、「自分で選べる（自己選択・自己決定）」「自分の気持ちを伝えられる」「自分らしく地域社会で生活できる」ように、子どもたちやご家族の不安や疑問に寄り添いながら成長をサポートします。		
営業時間	月曜日～金曜日 （学校休業日）	9:30～17:00 9:30～16:00	送迎実施の有無 あり なし （要相談）
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<p>①健康状態の維持・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの障がい特性や発達の過程等に配慮して、心身の異変に気付けるよう細やかに観察します。 <p>②生活習慣や生活リズムの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールにそった活動を行い、見通しが立つように支援し、安心して過ごせるようにします。 <p>③基本的な生活スキルの習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・靴をげた箱に入れる、荷物を所定の場所に入れる、排せつ、手洗いなど生活能力に関する動作を活動の中で取り入れていきます。 ・活動する場所や時間をわかりやすく設定します。 <p>④学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の習慣を身につける。 	
	運動・感覚	<p>①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの会、おわりの会等で、椅子に座る練習を行い、姿勢維持の向上を目指します。 *音楽活動…音楽の特性を活かして子どもの持っている力を引き出し、心地よい刺激により、情緒の安定や心身の発達を目指します。 *運動活動…様々な動きを取り入れた活動により、感覚を刺激しながら運動機能の発達の向上を目指します。 *創作活動…様々な素材や道具に触れながら、指先の機能の発達を促します。また、想像力・表現力の向上を図ります。 <p>②保有する感覚の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> *スヌーズレン…光、音、香りなど様々な感覚を体感しながら心地よい空間でリラックスして過ごし、心身の安定や興味の活性化を図ります。 <p>③感覚特性の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚や認知の特性を踏まえ、刺激となる視覚や聴覚等の環境調整を行います。 	
	認知・行動	<p>①認知の特性についての理解と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの認知特性を理解し、絵カード、写真等を用いて、適切に行動できるよう環境設定を行います。 <p>②対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別活動や自由遊び、集団活動の様々な活動を通して、時間、空間、数、色、分類、図形、感情概念等の認知の発達を促します。 ・集団活動では、ルールを言葉と視覚的な提示によってわかりやすく伝えます。 ・活動や遊びを通して、「できた」という成功体験を得られるよう支援し、「またやりたい」「やってみよう」という意欲につなげます。 <p>③行動障害への予防及び対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不適切な言葉や行動が見られたときは、行動の原因を見つけ、環境設定や見本を見せる等を行い、適切な行動を多く引き出すよう支援します。 	
	言語 コミュニケーション	<p>①コミュニケーション基礎的能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉のやりとりを通して、人に伝えようとする意欲を大切にします。要求とともに拒否の気持ちも受け止めて、適切に伝えられるよう支援します。 <p>②言語の受容と表出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動や遊び等において、自分や他者の気持ちや考えを適切な言葉で伝えたり、代弁したりすることで、言語の理解につなげます。 <p>③言語の形成と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動や遊びの中で、「どうぞ」「ありがとう」「ください」など社会性のある言葉と動作を結びつけ、適切なコミュニケーションの仕方を示していきます。 	

	人間関係 社会性	<p>①アタッチメント（愛着）の形成と安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心できる大人との関係性をつくることを基本とし、そこから周りの状況にも気づき、周囲の人や物への興味関心を持てるよう支援します。 <p>②遊びを通じた社会性の発達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びや集団活動の中で、場や物の共有をすることで、他者とやりとりする機会を設定し、社会性の向上を目指します。 <p>③自己の理解と行動の調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性を理解し、一人ひとりに合わせた言葉かけや適切な行動を示すことで、感情のコントロールが身につくよう支援します。 <p>④仲間づくりと集団への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団活動の中で、ルールや順番の理解、周りの状況に気付けるよう支援します。 ・集団活動の中で、他者と同じ体験を共有し、一体感を得ることができるよう支援します。 	
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てをサポートできるように、本人の強み、感覚や認知の特性などを共有し、必要に応じて面談の機会を設け、相談援助を行います。 ・家族に実際の支援場面を通じて、子どもの特性やかかわり方等を学ぶ機会を設け、相談援助を行います。 	移行支援 <ul style="list-style-type: none"> ・事業所で支援し、習得した行動を園や学校、家庭などで同様の行動ができることをめざした支援を行う。 ・地域の公園や公共施設を活用し、活動を行う。 ・保育園や学校、放課後児童クラブ等、関係機関との情報共有を行い、連携した支援を行う。
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・他の通所支援事業所との情報交換 ・自立支援協議会等、地域連携会議への参加 ・地域のコミュニティ協議会との交流 ・地域のごみ拾いボランティアへの取組 	職員の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・新入職員研修・事業所研修・法人全体研修 ・強度行動障害支援者養成研修・新潟県社会福祉協議会の研修 ・児童発達支援センターによる研修 ・児童発達支援管理責任者研修 ・虐待防止、身体拘束適正化のための研修・BCP（感染症、災害）研修 ・事故防止のための研修・ハラスメント防止研修 ・日々の支援の振り返りとミーティングを行い、より充実した支援の向上をめざす。
	主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じる活動（お花見、端午の節句、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、節分、ひな祭りなど） ・学校休業日における外出活動 	